

事業報告書 概要版（令和5年度）

項目	内容	
指定管理者名	新潟県ビル管理協同組合	
団体の概要 (R6.3.31現在)	所在地	新潟市中央区東大通2丁目2番18号
	代表者	代表理事 村上 邦一郎
	職員数	(組合事務局) 2人
	役員	(組合理事) 6人
	正職員	(組合員14社総数) 573人
	非常勤・臨時職員等	(組合員14社総数) 2,035人
	設立年月日	昭和51年12月24日
主な業務内容	組合員のために行う、建物サービス及び警備業法第1条第1項第1号及び第2号に規定する警備業務ならびに放課後児童健全育成事業の共同受注他	
基本理念	常に児童の健康と安全確保に配慮し、放課後の時間帯における家庭的機能の補完により、「生活の場」及び「遊び」を通して、児童の健全育成を図る。	
クラブ数及び児童数 (R6.3.31現在)	クラブ数	8クラブ（11施設）
	児童数	739人
職員配置	113名（正規支援員 25名 / 補助員 88名）	
運営	児童の健全育成	児童の人権と人格を最大限尊重して常に傾聴の姿勢を基本とし、子どもの年齢層による発達過程と個々の養育環境を十分に理解し、個別のかつ適正な育成を図る取り組みを行いました。
	地域との関わり	日常的に子どもの安全と健康に関する情報交換を行い、学校施設の利用に関して協力体制の構築を図りました。しかし、新型コロナウイルス感染予防対策の観点から、保護者会等の行事は中止としました。
	障がい児の受け入れ	受入れにあたっては、子どもと保護者の立場に立ち、障がいの程度、発達状況等、個々の状況を的確に捉えた育成とより良い支援や問題の解決方法を検討し取り組むとともに、保護者へのヒアリングにより事前認知を徹底し、十分な配慮を心掛け対応しました。
	人材の確保と育成	新型コロナウイルス感染予防対策の観点から、全体研修は1回の実施に留まりましたが、クラブ単位での内部研修を実施。外部研修へも可能な範囲で受講参加しました。
	要望・苦情への対応	要望・苦情及び保護者会等の発言については、積極的に意見を聞き、常に迅速かつ適切に対応しました。また、運営内容や施設・設備等に係る保護者アンケートを実施し、利用者満足度の把握及び向上に向けた整理を行いました。
	危機管理体制	常に起こりうる危機意識を持ち、クラブごとに定期的な防災訓練を行うとともに、日常的な消毒・換気・健康観察、パーテーションの設置による密の回避等、新型コロナウイルス感染予防対策を実行しました。

事業報告書 概要版（令和5年度）

項目	内容	
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	
団体の概要 (R6.3.31現在)	所在地	東京都豊島区東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル7F
	代表者	田嶋羊子
	職員数	5,270人
	役員	43人
	正職員	1,969人
	非常勤・臨時職員等	3,301人
	設立年月日	2001年9月13日
	主な業務内容	①介護保険法に基づく介護サービス事業 ②高齢者・障害者保健福祉サービス事業 ③保育、学童保育、子育て支援に関係する事業 ④地域福祉のための人材を育成するための研修・講習会などの事業 ⑤地域に関わる仕事おこしを促進する講座や研修、相談事業 ⑥障害者自立支援法による介護給付事業・訓練給付事業 ⑦地域活動支援センター、移動・相談・居住支援等の生活支援事業 ⑧指定管理者制度による公共施設等の管理運営事
基本理念	○「利用者との協同」「地域との協同」「働く者同士の協同」という3つの協同を大切にしています。一人ひとりを主体者として信頼し、その成長に最高の価値を見出します。 ○利用者・家族・地域住民の参加の場面を多くつくり、一緒に地域を創り上げる姿勢を大切にしています ○地域の課題を地域住民が主体となって解決していくことを通じて、地域の創生・まちづくりを目指しています。	
クラブ数及び児童数 (R6.3.31現在)	クラブ数	1
	児童数	174人
職員配置	常勤4人＋非常勤11人	
運営	児童の健全育成	児童の健全育成を図るため、支援員をはじめとし、利用児童、保護者、学校、地域等と連携を取りながら、運営に携わってきました。児童一人一人が主役となるよう、その個性を大事にした支援を心がけています。
	地域との関わり	保護者会の実施 地域との連携(ハロウィーンイベントを地域の方の協力を得て実施、白根秋祭りの実施)
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望は可能な限りすべて受け入れた。
	人材の確保と育成	すべての職員が研修を通してその対応を学び、実践しています。合わせて日々のミーティングや第1第2両クラブ間での情報交換、月1回の全員会議では気になる子どもについて情報共有を図ってきました。
	要望・苦情への対応	利用者アンケートを児童、保護者の両方に実施。児童のアンケート結果を元に、児童が考え主体になれるような活動を取り入れています。昨年度より保護者のアンケートは、「安心でんしょばと」を用いて行っています。タイムリーであったり、本音に近い意見があり、その結果を公表するとともに改善、要望事項については職員間で話し合いその対応に向けて取り組んでいます。
	危機管理体制	組織全体での管理体制を構築し、非常時には組織として機能するように常日頃情報共有や研修を開催するなど行っています。

事業報告書 概要版（令和5年度）

項目	内容	
指定管理者名	社会福祉法人下山福社会	
団体の概要 (R6.3.31現在)	所在地	新潟市東区太平2丁目7-17
	代表者	理事長 村山美穂子
	職員数	43人
	役員	18人
	正職員	15人
	非常勤・臨時職員等	28人
	設立年月日	平成28年4月1日
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園の運営 ・新潟市指定管理事業下山ひまわりクラブの運営 	
基本理念	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権の尊重 ・信頼されるこども園、児童クラブの運営 ・保育経営の安定 ・地域福祉の充実 ・職員の安定と満足のいく発展性のある職場 	
クラブ数及び児童数 (R6.3.31現在)	クラブ数	2施設
	児童数	126人
職員配置	放課後児童支援員6名 支援員補助員6名 事務員1名	
運営	児童の健全育成	児童一人ひとりの発達に寄り添い、人権を尊重し、見通しを持った育成支援を行った。保護者や学校と連携を図り、児童にとって最善の環境づくりに努めた。
	地域との関わり	学校や地域との関係機関との連携を深めた。地域の方や、民生委員、児童委員の方との交流を深め、児童も地域の一員としての自覚を持つことができた。
	障がい児の受け入れ	受入の際には、保護者、小学校、関係機関との情報共有を行い、適切な支援がおこなえるように努めた。保護者の思いに寄り添い、児童の成長とともに喜ぶことができる支援を行った。
	人材の確保と育成	施設内研修、個別研修を積極的に行い、支援員の資質向上に努めた。日々のミーティングを通し、支援員間でのコミュニケーションの向上を図り、連携のもと、児童にとってより良い育成支援を行うことができた。
	要望・苦情への対応	児童アンケート、保護者アンケート、ご意見ポストで、意見や要望を伝えていただきやすい環境を整え、いただいた内容を真摯に受け止め、支援員で情報共有して改善に向けて対応を行った。
	危機管理体制	年3回の避難訓練の他、危機管理については常日頃から児童と確認をした。訓練を通して「自分の身は自分で守る。」をモットーに生きる力の基礎を培うことに努めた。支援員は、ヒヤリハットの作成、振り返り研修を行い、再発防止、事故防止に努めた。

事業報告書 概要版（令和5年度）

項目	内容	
指定管理者名	山の下地区コミュニティ協議会	
団体の概要 (R6.3.31現在)	所在地	新潟市東区古川町4番12号
	代表者	米田東逸
	職員数	13人
	役員	25人
	正職員	4人
	非常勤・臨時職員等	9人
	設立年月日	平成19年4月1日
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・山の下ひまわりクラブの運営管理 ・老人憩いの家大山台運営管理 ・高齢者健康体操 ・山の下夜遊びランド ・山の下ハロウィンパーティー 	
基本理念	放課後児童の安全確保、遊び及び生活の場を提供し就労している保護者に代わり地域における健全育成を図る	
クラブ数及び児童数 (R6.3.31現在)	クラブ数	1
	児童数	65
職員配置	放課後児童支援員3名 加配1名 代替1名 臨時職員3名	
運営	児童の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・個の尊厳を守り傾聴の姿勢を基本に理解と安心を与え育成を図る。 ・自ら考え行動できるように援助する。こどもの自主性・社交性・創造性を養う。 ・支援員や友達との安定した関係の中で失敗も重要な学習の機会と捉えこども自ら体験する機会を与える。
	地域との関わり	小学校・ふれあいスクール・民生児童委員等、様々な地域の関係機関と連携を深め、防災訓練などの地域の事業を通じてお互いに顔の見える事業を行う
	障がい児の受け入れ	学級担任・支援学級担任・保護者と情報共有し協力しながら支援を行う。 児童にとって最善な方法を関わりのある関係者と検討していく。
	人材の確保と育成	地元地域の人材活用を基本に知識と理解及び情熱を有する質の高い人材を採用する。 定期的に研修及び会議を行い児童に寄り添う支援を提供できるような人材育成を行う。
	要望・苦情への対応	保護者、地域の要望は積極的に傾聴しその後、問題解決に向けて協議を行い、受付・解決・指導を行う。
	危機管理体制	不慮の事故発生を常に意識しながら未然に事故を防ぐ努力をする。 安全計画を策定しヒヤリハット記録簿を活用・分析して危険を未然に防ぐための情報共有を随時行っている。

事業報告書 概要版（令和5年度）

項目	内容	
指定管理者名	(株)Dream Advance ゆめのき学園	
団体の概要 (R6.3.31現在)	所在地	新潟市西区坂井砂山2丁目15-3
	代表者	代表取締役:喜多村哲平
	職員数	79名
	役員	4名
	正職員	12名
	非常勤・臨時職員等	63名
	設立年月日	2014年3月15日
主な業務内容	①新潟市指定管理事業(放課後児童健全育成事業) ②フリースクール・民間学童施設運営事業 ③多胎支援事業 ④習い事教室事業	
基本理念	自分で考え 自分で選択し 未来を創る力を育む	
クラブ数及び児童数 (R6.3.31現在)	クラブ数	3クラブ
	児童数	477名(194名、171名、112名)
職員配置	各クラブに放課後児童支援員4名、補助員4～6名	
運営	児童の健全育成	子ども自身が選べることや自分たちで創り上げること、地域や様々な大人と関わることができる活動を組み込んだ運営を行った。また、ひまわりクラブの施設を活動に応じて複合的に利用した他、第1・第2を子ども達が行き来して交流できるようにしたことで、子ども同士の関わりや活動の幅を広げた。
	地域との関わり	学校と定期的に連携をとり、共に子どもたちを見守る体制をとってきた。地域や保護者、ボランティアと協力した運営やイベント実施を行なった他、ふれあいスクールとの連携体制を強めた。 西区ふれあいあき祭りへの参加や地域の学習塾での学習等、地域に出た活動を行った。
	障がい児の受け入れ	入会前に保護者から児童についてよく聞き取りを行う他、日々の様子を保護者の方と共有しながら対応の検討を重ねた。また、小学校とも連携し、地続きで対応が必要なことについての情報共有等を行った。障がいのある子どもたちがなるべく過ごしやすいような環境づくり等の対応に努めた。
	人材の確保と育成	求人サイトへの掲載や、大学生の紹介キャンペーンの実施等、年間を通じて人材確保のための取り組みを行い、採用に繋がった。また、日々のミーティングや定例会議での事例共有や共通認識の確認を行った他、研修でのビジョン共有と対話を行い、職員同士が共通のイメージを持ってクラブ運営を考えられる機会を設けた。
	要望・苦情への対応	日頃から日々の不安が苦情につながる前に丁寧に気持ちの受け止めをすることを大切に対応してきた。要望・苦情を1クラブのみの問題とせず、代表を含む複数のクラブの支援員で最善の方法を考えて対応した。
	危機管理体制	施設の日常的な点検・毎月の定期点検を行い、安全確認を行なった。子どもたちとの避難訓練・消防訓練の他、職員の救命救急研修を実施した。また、BCPを策定した。 能登半島沖地震の際は、地震発生翌日から施設や周辺地域の点検を行い、代表と事務局、3クラブが一体となって、児童が安心・安全な状態でクラブを利用できる体制を整えた。

事業報告書 概要版（令和5年度）

項目	内容	
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	
団体の概要 (R6.3.31現在)	所在地	〒182-0022 東京都調布市調布ヶ丘三丁目6番地3
	代表者	代表取締役 山田 智治
	職員数	16,239人
	役員	4人
	正職員	655人
	非常勤・臨時職員等	15,580人
	設立年月日	昭和61年11月1日
	主な業務内容	①給食業務(学校給食S61/11、保育園給食H13/4、社員食堂) ②図書館業務(H14/7) ③人材派遣業務(H7/12OA機器操作、受付、電話交換、秘書、ファイリング、経理) ④寮・保養所管理業務(S61/11社員寮・研修施設・保養所等の管理及び調理サービス) ⑤管理サービス業務(S61/11メールサービス、ロビー案内、清掃) ⑥ビルメンテナンス業務(S61/11一般清掃、特別清掃、電気・空調設備の運転管理) ⑦警備業務(建物警備、駐車場管理、防災管理)
基本理念	「未来の子供たちのために」	
クラブ数及び児童数 (R6.3.31現在)	クラブ数	新潟市学童22クラブ
	児童数	1,318人
職員配置	常勤50名 非常勤125名	
運営	児童の健全育成	①健全育成プログラム・・・外遊び、内遊び、表現活動など ②学習支援・・・自主学習、グループワーク、サークル活動など ③生活支援・・・食育通信の配布や活動実施展開、家庭との情報交換、専門機関との連携など楽しさの中に学びがある活動を目指し子どもたちの総合的なサポートを行っております。
	地域との関わり	子どもたちが心身ともに健やかに成長できる環境づくりとして市内公共施設、地域住民や関係機関と協力体制を確立し、安全の確保や子ども達を地域で育てる環境整備に努めております。
	障がい児の受け入れ	①実態把握(学校・保護者・新潟市との連携) ②指導実践(事前検討、対応、改善を繰り返す) ③教育体制(本社主導の研修、支援員育成プログラム) ④健全児とのかかわり(行事・プログラムを通じた体制作り)
	人材の確保と育成	児童福祉専属の新卒者の積極的な採用や長期休暇時は、管轄する営業所や本部、近隣受託施設(主に学校給食)からの応援(バックアップ体制)をしております。 施設間の情報共有として社内インフラ「学童ネット」を導入し支援員間の連携しております。
	要望・苦情への対応	入社時及び年1回「礼節・マナー研修」を実施し「人間力の向上」を目指し、苦情の未然防止に努めております。
	危機管理体制	「安全・危機管理マニュアル」「災害対策マニュアル」等を用いた研修会を実施しております。

事業報告書 概要版（令和5年度）

項目	内容	
指定管理者名	小林コミュニティ協議会	
団体の概要 (R6.3.31現在)	所在地	新潟市南区下木山613番地
	代表者	会長 真保 慶一
	職員数	12人
	役員	20人
	正職員	4人
	非常勤・臨時職員等	10人
	設立年月日	平成18年3月25日
主な業務内容	総務部会等8部会を設置し地域住民間の連携を深める活動の推進や自助・共助を推進する事業の企画及びその実施に関する業務	
基本理念	児童が安心・安全に過ごし 健やかな成長を育める場を提供する。	
クラブ数及び児童数 (R6.3.31現在)	クラブ数	1
	児童数	65
職員配置	基本方針を目標とし 個々の児童へ手厚い支援が行き届く職員配置とした。	
運営	児童の健全育成	児童の人格を尊重し 個々の発達や状況に応じた柔軟で適正な育成支援を行えるよう努めた。
	地域との関わり	地域の人材を活用し 育成支援を行った。避難訓練や地域の文化祭へ参加を通し 交流を深めた。
	障がい児の受け入れ	保護者・学校・職員間で情報共有及び連携をし 個々の発達や状況に応じた支援に努めた。
	人材の確保と育成	地域の人材を活用し 増員をした。研修・ミーティング等を積極的に行い自己研鑽に励んだ。
	要望・苦情への対応	真摯に受けとめ 傾聴し 迅速な対応 解決へ取り組んだ。
	危機管理体制	対応マニュアルに基づき 施設の安全点検・避難訓練・救命講習等を行った。ヒヤリハットの情報共有をし 防止策を講じた。

事業報告書 概要版（令和5年度）

項目	内容	
指定管理者名	社会福祉法人新潟南福祉会	
団体の概要 (R6.3.31現在)	所在地	新潟市西蒲区称名825番地
	代表者	理事長 浅妻茂行
	職員数	390
	役員	7人
	正職員	303人
	非常勤・臨時職員等	87人
	設立年月日	平成6年7月1日
	主な業務内容	介護保険事業
基本理念	1.質の高い介護サービスの提供に努めます 2.地域とともに歩み開かれた施設を目指します 3.創意と工夫の提案で経営の安定化に寄与します 4.安全運転に徹し自動車事故防止に努めます	
クラブ数及び児童数 (R6.3.31現在)	クラブ数	2
	児童数	96
職員配置	正職員6名 パート職員6名	
運営	児童の健全育成	児童の発達段階及び発達過程、特徴やはたらきかけ等を理解し育成にあたる。異なる学年の仲間、支援員や地域の人達等、多くの人との関わりや活動を通し自主性や社会性、創造性が育つ生活の場となるよう努めました。
	地域との関わり	小学校、民生児童委員等の地域との連携やふれ合いを通じて、人の心のぬくもりの中で子ども達が育つよう地域のつながりを大切に活動を行いました。
	障がい児の受け入れ	障がい児童の受け入れを行い、特別な支援が必要な児童については、児童と保護者の思いをくみ取りながら小学校等専門機関と連携を取りながら支援を行いました。
	人材の確保と育成	サービスの質・利用者の満足度を高めるため、児童の安全管理や生活および遊びの指導等の研修に積極的に参加し充実に努めました。
	要望・苦情への対応	要望や苦情及び保護者会等の要望については、積極的に意見を聞き、取り入れるべき内容については、事務局や市の子ども未来課と共に対応しました。
	危機管理体制	子どもの事故等を防止するため、いつでも起こり得るという危機意識を常に持ち、事故発生の原因を究明し再発防止に努めました。

事業報告書 概要版（令和5年度）

項目	内容	
指定管理者名	特定非営利活動法人 新潟市木戸地域コミュニティ協議会木戸ひまわりクラブ運営委員会	
団体の概要 (R6.3.31現在)	所在地	新潟市東区中山4丁目2番6号
	代表者	理事長 長谷川 徳昭
	職員数	35人
	役員	9人
	正職員	4人
	非常勤・臨時職員等	22人
	設立年月日	平成18年5月27日
主な業務内容	木戸ひまわりクラブの運営管理	
基本理念	放課後の時間帯において保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「生活」の場を提供し、「遊び」及び「生活」を通して子どもの健全育成を図ること。	
クラブ数及び児童数 (R6.3.31現在)	クラブ数	1クラブ(2施設)
	児童数	92人
職員配置	■正規支援員 嘱託職員 第1:2人 第2:2人 ■補助員 正規代替:0人 加配:7人 日々代替:13人 ■事務員 2人	
運営	児童の健全育成	子ども一人ひとりの生活状況を把握しながら、子どもの情緒や子ども同士の関係にも配慮し、子どもにとって安心・安全な遊び及び生活の環境を整え、子どもの自主性・社会性・創造性を養う。支援員や友達との安定した関係の中で、意欲的に遊びを楽しみ、遊びの中で決まりのある生活の大切さが身につくよう配慮して援助を行いました。
	地域との関わり	木戸小学校・木戸小学校学校支援ボランティア・民生児童委員・自治会等、地域との連携を深め、ふれあいスクールとは、一体化して活動を行いました。
	障がい児の受け入れ	子どもと保護者の立場に立ちながら、可能な限り受け入れを行い、小学校や専門機関等と連携を取りながら障がい児への支援を行いました。
	人材の確保と育成	サービスの質、利用者の満足度を高めるため、子どもの安全管理や生活および遊びの指導等の研修の充実に努めました。
	要望・苦情への対応	要望や苦情及び保護者会等の要望については、積極的に意見を聞き、取り入れるべき内容については、事務局と共に対応しました。
	危機管理体制	子どもの事故等を防止するため、いつでも起こり得るという危機意識を常に持ち、事故発生の原因を究明し再発防止に努めました。支援員は、学校・地域の防災訓練に参加しました。保護者にはメールを配信し、子ども達の安全を確保できるよう努めました。感染予防の為、分散保育を行いました。

事業報告書 概要版（令和5年度）

項目	内容	
指定管理者名	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会	
団体の概要 (R6.3.31現在)	所在地	新潟市中央区八千代1-3-1
	代表者	会長 井浦 正弘
	職員数	1,506人
	役員	1人
	正職員	156人
	非常勤・臨時職員等	1,428人
	設立年月日	1956年3月29日
	主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、在宅福祉活動 ・ボランティア活動の振興 ・介護保険事業
基本理念	子どもの状況や発達段階を踏まえながら、適切な遊び及び生活の場を提供するとともに、子どもの最善の利益を考慮し、児童の健全育成を図る。	
クラブ数及び児童数 (R6.3.31現在)	クラブ数	56クラブ(99施設)
	児童数	5,858人
職員配置	支援員 189人 補助員 560人	
運営	児童の健全育成	子ども一人ひとりの生活状況を把握しながら、子どもの情緒や子ども同士の関係に配慮し、安心・安全な遊び及び生活の環境を整えるなど、家庭と連携した育成支援を行いました。
	地域との関わり	小学校・ふれあいスクール・地域コミュニティ協議会・民生委員児童委員・地域団体・企業等の様々な地域の関係機関と連携を深め積極的に協力体制の構築に取り組みました。
	障がい児の受け入れ	子どもと保護者に事前見学してもらいながら、可能な限り受け入れを行い、小学校や放課後児童デイ、専門機関等と連携を取りながら障がい児への支援を行いました。
	人材の確保と育成	サービスの質・利用者の満足度を高めるため、県の支援員認定資格研修を積極的に受講するとともに、内部研修の充実を図りました。
	要望・苦情への対応	要望や苦情及び保護者会等の要望については、積極的に意見を聞き、取り入れるべき内容については、事務局と共に対応しました。また、保護者アンケートの検証を行い、運営改善に努めました。
	危機管理体制	子どもの事故等を防止するため、いつでも起こり得るという危機意識を常に持ち、事故発生の原因を究明し、再発防止に努めました。また、災害訓練を実施するなど緊急時の対応に備えました。